

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-245268

(P 2 0 0 2 - 2 4 5 2 6 8 A)

(43) 公開日 平成14年8月30日(2002.8.30)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	ターコード (参考)	
G06F 17/60	302	G06F 17/60	302	E 5B017
	332		332	5B085
	502		502	
12/14	320	12/14	320	F
15/00	310	15/00	310	A
審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全11頁)				

(21) 出願番号 特願2001-43770 (P 2001-43770)

(22) 出願日 平成13年2月20日(2001.2.20)

(71) 出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都渋谷区本町1丁目6番2号

(72) 発明者 浦 一夫

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ

計算機株式会社羽村技術センター内

(74) 代理人 100058479

弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

Fターム(参考) 5B017 AA07 BA05 CA15

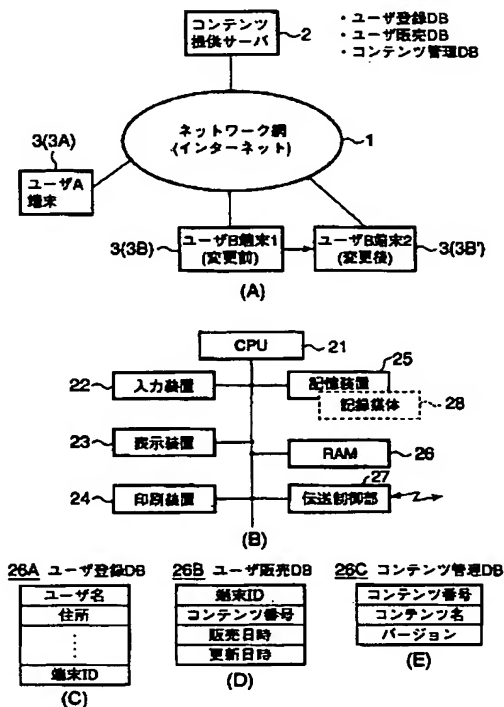
5B085 BG07

(54) 【発明の名称】 情報提供システム、情報提供方法、及びプログラム

(57) 【要約】

【課題】 ユーザが一度購入したデジタルコンテンツデータを再度購入することなく、且つ、簡単な操作で、再取得できるようにすること。

【解決手段】 コンテンツ提供サーバ2は、複数のデジタルコンテンツデータの中でユーザが指定した情報をネットワーク網1を介して提供する際、その提供先のユーザ端末3に対して、そのユーザ端末3の端末IDを取得するための端末チェックプログラムを送信して、そのユーザ端末3から端末IDを取得し、その取端末IDをコンテンツ番号に対応付けてユーザ販売DB26Bで管理する。そして、ユーザに対して提供済みのコンテンツの再取得の要求があった場合に、上記と同様にして端末IDを取得し、その端末IDがユーザ販売DB26Bに記憶されている場合には、その端末IDに対応して記憶された過去提供のコンテンツを、そのユーザ端末3に対して再送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の情報の内でユーザが指定した情報を提供する情報提供システムであって、

ユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末から端末識別情報を取得する端末識別情報取得手段と、

上記端末識別情報取得手段によって取得した端末識別情報を、上記提供情報に対応付けて管理する提供情報管理手段と、

ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、上記端末識別情報取得手段に、その要求元の端末から端末識別情報を取得させる端末識別情報取得制御手段と、

上記取得された端末識別情報が上記提供情報管理手段に記憶されているか否かを判定する判定手段と、

上記判定手段により記憶されていると判定された場合には、その端末識別情報に対応して上記提供情報管理手段に記憶された過去提供の情報を、その端末に対して再提供する情報再提供手段と、

を具備することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 2】 上記端末識別情報取得手段は、上記提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得し、

上記端末識別情報取得制御手段は、ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、上記端末識別情報取得手段に、その要求元の端末に対して、上記端末チェックプログラムを送信させて、その端末から端末識別情報を取得させることを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 3】 上記情報再提供手段による提供情報の再提供に当たっては、上記端末識別情報に対応して上記提供情報管理手段に記憶された過去の提供情報の一覧を取得し、その取得した一覧をその要求端末に対して送信し、上記要求端末からの提供情報の特定により、その特定された提供情報を送信することを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 4】 上記情報の再取得の要求があった場合には、その要求元の端末においてその提供情報が利用できない状況にあるか否かを判定する状況判定手段を更に具備し、

上記情報再提供手段は、上記状況判定手段により要求元の端末においてその提供情報が利用できない状況にあると判定された場合に、上記情報の再提供を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 5】 上記提供情報管理手段は、その端末のユーザに関するユーザ情報も記憶し、

上記情報再提供手段は、上記判定手段による上記端末識別情報での判定で記憶が無いと判定された際は、その端末のユーザが上記提供情報管理手段に記憶されているユ

ーザ情報に一致するユーザか否かを判別し、一致するユーザであればその端末に対して上記提供情報を再提供すると共に、その提供情報に対応して上記提供情報管理手段で管理されていた端末識別情報を、新規に取得した上記端末識別情報に変更することを特徴とする請求項 1 に記載の情報提供システム。

【請求項 6】 複数の有料情報の内でユーザが指定した情報を提供する情報提供システムであって、

ユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得する端末識別情報取得手段と、

上記端末識別情報取得手段によって取得した端末識別情報に対応する端末に対して、上記指定の情報を提供済みか否かを判定することにより、情報の再提供か新規提供かを判別する判別手段と、

上記判別手段による判別結果に応じて、その指定情報に対する料金支払額を変更する変更手段と、

を具備することを特徴とする情報提供システム。

【請求項 7】 上記変更手段は、上記情報の新規提供の場合は、更にその情報に関連する情報をその端末に対して提供済みか否かを判定し、その判定結果に応じてその指定情報に対する料金支払額を変更することを特徴とする請求項 6 に記載の情報提供システム。

【請求項 8】 複数の情報の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末から端末識別情報を取得し、

その取得した端末識別情報を、上記提供情報に対応付けて管理し、

ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、その要求元の端末から端末識別情報を取得し、その端末識別情報が記憶されているか否かを判定し、記憶されている場合には、その端末識別情報に対応して記憶された過去提供の情報を、その端末に対して再提供する、

ことを特徴とする情報提供方法。

【請求項 9】 上記端末識別情報の取得は、上記端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信することにより行われることを特徴とする請求項 8 に記載の情報提供方法。

【請求項 10】 複数の有料情報の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得し、

その取得した端末識別情報に対応する端末に対して、上記指定の情報を提供済みか否かを判定することにより、情報の再提供か新規提供かを判別し、

その判別結果に応じて、その指定情報に対する料金支払

額を変更する、

ことを特徴とする情報提供方法。

・【請求項 11】 コンピュータに、

複数の情報の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末から端末識別情報を取得する機能と、

その取得した端末識別情報を、上記提供情報に対応付けて管理する機能と、

ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、その要求元の端末から端末識別情報を取得する機能と、

その端末識別情報が記憶されているか否かを判定する機能と、

記憶されている場合には、その端末識別情報に対応して記憶された過去提供の情報を、その端末に対して再提供する機能と、

を実現させるためのプログラム。

・【請求項 12】 コンピュータに、

複数の有料情報の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得する機能と、

その取得した端末識別情報に対応する端末に対して、上記指定の情報を提供済みか否かを判定することにより、情報の再提供か新規提供かを判別する機能と、

その判別結果に応じて、その指定情報に対する料金支払額を変更する機能と、

を実現させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数の情報の内でユーザが指定した情報を提供する情報提供システム及び情報提供方法、及び、そのような情報提供システムの機能をコンピュータに実現させるためのプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】一般的に、有料のデジタルコンテンツデータは、そのデータ提供元のサーバから、インターネット等のネットワーク網を介して、コンピュータへダウンロードして、コンピュータ上のハードディスクやメモリデバイスに保存するという手法が取られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このようにしてコンピュータにダウンロードした有料のデジタルコンテンツは、その購入後の保存についてはユーザに任されており、ディスククラッシュ等でデバイスが故障した場合や OS の交換、コンピュータの変更、等によるデータ損失については、コンテンツデータを再度購入しなければならない。

【0004】また、従来にあっては、アプリケーションソフト等の各種デジタルコンテンツを販売する際は、各コンテンツ毎に独自の識別コードを付与してユーザに対して販売を行い、そのコンテンツの内容がバージョンアップ等で更新された場合は、そのコンテンツを購入したユーザからのその更新されたコンテンツの要求により上記識別コードの送信を条件に、そのバージョンアップされたコンテンツを割引価格あるいは無料にて提供するサービスがある。

【0005】この種のサービスはあっても、元となるコンテンツそのものが存在しないと、バージョンアップだけでは対応できない。

【0006】また、購入コンテンツに対してユーザ登録しておくことにより、後日、そのコンテンツを再取得できるようにしたものがあるが、その取得のためには、ユーザ登録したユーザ ID 等のユーザ情報を入力する手間が必要である。

【0007】本発明の課題は、有料デジタルコンテンツデータを購入した後に、ユーザが当該デジタルコンテンツデータを再度購入することなく、且つ、簡単な操作で、当該デジタルコンテンツデータを再取得できるようにすることである。

【0008】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するために、本発明による情報提供システムは、複数の情報（デジタルコンテンツ）の内でユーザが指定した情報を提供する情報提供システムであって、ユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末から端末識別情報を取得する端末識別情報取得手段と、上記端末識別情報取得手段によって取得した端末識別情報（例えば端末 ID）を、上記提供情報（例えば提供情報固有のコンテンツ番号）に対応付けて管理する提供情報管理手段と、ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、上記端末識別情報取得手段に、その要求元の端末から端末識別情報を取得させる端末識別情報取得制御手段と、上記取得された端末識別情報が上記提供情報管理手段に記憶されているか否かを判定する判定手段と、上記判定手段により記憶されていると判定された場合には、その端末識別情報に対応して上記提供情報管理手段に記憶された過去提供の情報を、その端末に対して再提供する情報再提供手段とを具備することを特徴とする。

【0009】また、本発明による情報提供方法は、複数の情報（デジタルコンテンツ）の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末から端末識別情報を取得し、その取得した端末識別情報（例えば端末 ID）を、上記提供情報（例えば提供情報固有のコンテンツ番号）に対応付けて管理し、ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、その要求元の端末から端末識別情報を取得し、そ

の端末識別情報が記憶されているか否かを判定し、記憶されている場合には、その端末識別情報に対応して記憶された過去提供の情報を、その端末に対して再提供することを特徴とする。

【0010】また、本発明によるプログラムは、コンピュータに、複数の情報（デジタルコンテンツ）の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末から端末識別情報を取得する機能と、その取得した端末識別情報（例えば端末ID）を、上記提供情報（例えば提供情報固有のコンテンツ番号）に対応付けて管理する機能と、ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、その要求元の端末から端末識別情報を取得する機能と、その端末識別情報が記憶されているか否かを判定する機能と、記憶されている場合には、その端末識別情報に対応して記憶された過去提供の情報を、その端末に対して再提供する機能とを実現させるためのものであることを特徴とする。

【0011】即ち、本発明の情報提供システム、情報提供方法、及びプログラムによれば、ユーザが指定した情報をそのユーザの端末に対して提供した場合は、その端末の端末識別情報を自動取得してその取得した端末識別情報と上記指定情報とを対応付けて管理し、情報の再取得の要求があった場合にもその端末識別情報を自動取得し、その端末に対して過去に提供した情報については、その情報を直ちに再提供できるようにしたので、過去に情報を取得した端末においてその情報の再取得が必要になった場合には、その端末を使っての再取得の要求のみによりその情報の再取得を直に行うことができる。

【0012】なお、上記端末識別情報取得手段における上記端末識別情報の取得は、上記提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得するようにし、また、上記端末識別情報取得制御手段は、ユーザに対して提供済みの情報の再取得の要求があった場合に、上記端末識別情報取得手段に、その要求元の端末に対して、上記端末チェックプログラムを送信させて、その端末から端末識別情報を取得させるようにしても良い。

【0013】即ち、端末チェックプログラムを端末に送信するので、予めそのような端末チェックプログラムを持たない端末にも対応することができる。

【0014】また、上記情報再提供手段による提供情報の再提供に当たっては、上記端末識別情報に対応して上記提供情報管理手段に記憶された過去の提供情報の一覧を取得し、その取得した一覧をその要求端末に対して送信し、上記要求端末からの提供情報の特定により、その特定された提供情報を送信することが好ましい。

【0015】即ち、上記提供情報の再取得に際しては、その端末において過去に取得した情報の一覧を確認することができるので、再取得を必要とする情報の指定が容

易に行える。

【0016】或いは、上記情報の再取得の要求があった場合には、その要求元の端末においてその提供情報が利用できない状況（例えば、該当するコンテンツ無し、或いは、コンテンツが有ってアクセスできない、一部が壊れている、等）にあるか否かを判定する状況判定手段を更に具備し、上記情報再提供手段は、上記状況判定手段により要求元の端末においてその提供情報が利用できない状況にあると判定された場合に、上記情報の再提供を行うことが好ましい。

【0017】即ち、上記提供情報の再取得に際しては、その要求元の機器端末においてその提供情報が利用できない状況にあるか否かを判定し、できない状況の情報についてのみの再提供が可能となり、無用な再提供を防ぐことができる。

【0018】更には、上記提供情報管理手段は、その端末のユーザに関するユーザ情報も記憶し、上記情報再提供手段は、上記判定手段による上記端末識別情報での判定で記憶が無いと判定された際は、その端末のユーザが上記提供情報管理手段に記憶されているユーザ情報に一致するユーザか否かを判別し、一致するユーザであればその端末に対して上記提供情報を再提供すると共に、その提供情報に対応して上記提供情報管理手段で管理されていた端末識別情報を、新規に取得した上記端末識別情報に変更することが好ましい。

【0019】即ち、端末の変更などで情報の再取得が必要になった場合には、ユーザ確認の上でその新規端末に対する情報の再取得が可能となる。

【0020】また、本発明による情報提供システムは、複数の有料情報（有料コンテンツ）の内でユーザが指定した情報を提供する情報提供システムであって、ユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得する端末識別情報取得手段と、上記端末識別情報取得手段によって取得した端末識別情報に対応する端末に対して、上記指定の情報を提供済みか否かを判定することにより、情報の再提供か新規提供かを判別する判別手段と、上記判別手段による判別結果に応じて、その指定情報に対する料金支払額を変更する変更手段とを具備することを特徴とする。

【0021】また、本発明による情報提供方法は、複数の有料情報（有料コンテンツ）の内でユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得し、その取得した端末識別情報に対応する端末に対して、上記指定の情報を提供済みか否かを判定することにより、情報の再提供か新規提供かを判別し、その判別結果に応じて、その指定情報に対する料金

支払額を変更することを特徴とする。

【0022】また、本発明によるプログラムは、コンピュータに、複数の有料情報（有料コンテンツ）の内ユーザが指定した情報をネットワークを介して提供する場合、その提供先の端末に対して、その端末の端末識別情報を取得するための端末チェックプログラムを送信して、その端末から端末識別情報を取得する機能と、その取得した端末識別情報に対応する端末に対して、上記指定の情報を提供済みか否かを判定することにより、情報の再提供か新規提供かを判別する機能と、その判別結果に応じて、その指定情報に対する料金支払額を変更する機能とを実現させるためのものであることを特徴とする。

【0023】即ち、本発明の情報提供システム、情報提供方法、及びプログラムによれば、ユーザが指定した情報をユーザ端末に対して提供する場合、その提供先となる端末に対するその指定情報の提供が再提供となるのか新規提供となるのかを、その端末から自動取得した端末識別情報に基づいて自動判別するようにしたので、ユーザにあっては今使用している端末においてその指定情報の提供を過去に受けたのかどうか、忘れてしまっていたとしても、その情報を提供するサイドでその端末に対する提供が再提供なのか新規提供なのかを自動判断してくれるので、損の無い情報の提供を受けることができる。

【0024】またその端末でその情報の提供を受けていたことは分かっている、何等かの理由（例えば、ディスククラッシュ等でデバイスが故障した場合やOSの交換、等）でその情報を損失してしまう場合があるが、その場合であってもその端末で再度の情報提供を要求しさえすれば、新規提供とは異なる料金での情報提供を受けることができる。

【0025】なお、上記変更手段は、上記情報の新規提供の場合は、更にその情報に関連する情報（旧バージョンコンテンツ）をその端末に対して提供済みか否かを判定し、その判定結果に応じてその指定情報に対する料金支払額を変更することが好ましい。

【0026】即ち、提供を受けようとする上記情報が、その端末にとって新規の情報だとしても、その端末内にその指定情報に関連する情報があれば、新規提供とは異なる優遇された金額で情報提供を受けることができる。

【0027】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図1の（A）乃至図6を参照して説明する。

【0028】図1の（A）は、本発明の一実施の形態に係る情報提供システムの構成を示す図である。

【0029】即ち、インターネット等のネットワーク網1を介して、デジタルコンテンツデータを提供するコンテンツ提供サーバ2と複数のユーザ端末3（3A、3B、…）とが接続されるようになっている。この場合、上記コンテンツ提供サーバ2及びユーザ端末3は、上記

ネットワーク網1に、直接接続されるものであっても良いし、又は、インターネットサービスプロバイダ等の接続サービス提供者を介して、接続されるものであっても良い。

【0030】なお、同図において、ユーザAのユーザ端末3Aは、デジタルコンテンツデータを新規購入しようとするユーザの端末を表している。また、ユーザBのユーザ端末3B'は、端末の変更により、ユーザ端末3Bに代えてネットワーク網1に接続され直されたものであり、ユーザ端末3Bを用いて購入済みのデジタルコンテンツデータを無料で再取得しようとするユーザの端末を表している。

【0031】上記コンテンツ提供サーバ2は、提供するデジタルコンテンツデータを記憶していると共に、詳細は後述するようなユーザ登録DB、ユーザ販売DB、コンテンツ管理DB、等の各種データベースを備えている。

【0032】図1の（B）は、上記コンテンツ提供サーバ2として機能するコンピュータの構成を示す図である。なお、上記ユーザ端末3も、これと同様の構成のコンピュータにより提供されるものであり、よって、その図示及び説明は省略する。

【0033】即ち、上記コンテンツ提供サーバ2としてのコンピュータは、同図に示すように、CPU21、入力装置22、表示装置23、印刷装置24、記憶装置25、RAM26、伝送制御部27、等よりなる。

【0034】ここで、上記CPU21は、当該コンピュータ全体を制御する制御部である。また、上記入力装置22は、キーボードやポインティングデバイス（マウス）、上記表示装置23は、CRTや液晶ディスプレイ等であり、上記印刷装置24は、プリンタである。

【0035】上記記憶装置25は、プログラム、データ等が予め記憶されており、この記憶装置25は磁気的、光学的記録媒体、若しくは半導体メモリなど上記CPU21で読み取り可能な記録媒体28を含んだ構成である。この記録媒体28は、CD-ROM、メモ리카ード等の可搬型の媒体やハードディスク等の固定的な媒体を含む。また、この記録媒体28に格納するプログラム、データ等は、その一部若しくは全部をサーバやクライアントからWAN、LANなどのネットワークや上記インターネット等のネットワーク網1を介して上記伝送制御部27から受信する構成にしてもよく、更に、上記記録媒体28はネットワーク上に構築されたサーバやクライアントの記録媒体であっても良い。

【0036】上記RAM26は、上記CPU21がプログラム実行中に利用するワークメモリであり、前述したようなユーザ登録DB、ユーザ販売DB、コンテンツ管理DB、等を記憶している。

【0037】また、上記伝送制御部27は、上記WAN、LANなどのネットワークや上記インターネット等

10

20

30

40

50

のネットワーク網 1 を介して、他の機器との間でデータの送受信を行うためのものである。

【0038】図 1 の (C) は、上記 RAM 26 に設けられたユーザ登録 DB 26 A の 1 レコードの内容を示す図である。即ち、このユーザ登録 DB 26 A は、各ユーザ端末 3 から送信されてきた各ユーザの情報を登録しておくもので、各ユーザ毎に、ユーザ名や住所といった当該ユーザ自身の情報と共に、そのユーザ端末 3 の情報（端末 ID）を記憶するようになっている。ここで、端末 ID は、例えば当該端末の製造番号であり、ユーザが手入力するものであっても良いし、周知の技術によりユーザ端末 3 が自動的に取得することも可能である。

【0039】図 1 の (D) は、上記 RAM 26 に設けられたユーザ販売 DB 26 B の 1 レコードの内容を示す図である。即ち、このユーザ販売 DB 26 B は、各ユーザに販売したデジタルコンテンツデータの情報を登録しておくもので、各ユーザの端末 ID に対応させて、販売したコンテンツデータを特定するためのコンテンツ番号、その販売日時、及び、当該コンテンツデータの再取得（バージョンアップされたコンテンツデータの新規販売も含む）を行った日時である更新日時を記憶するようになっている。

【0040】図 1 の (E) は、上記 RAM 26 に設けられたコンテンツ管理 DB 26 C の 1 レコードの内容を示す図である。即ち、このコンテンツ管理 DB 26 C は、販売する各デジタルコンテンツデータの情報を登録しておくものであり、各コンテンツデータのコンテンツ番号に対応させて、コンテンツ名とバージョンを記憶するようになっている。

【0041】次に、このような構成における動作を説明する。図 2 乃至図 3 は、上記コンテンツ提供サーバ 2 での、ユーザ端末 3 からのコンテンツページ要求データを受信した際の動作を説明するための一連のフローチャートを示している。なお、この一連のフローチャートは、本発明の一実施の形態における上記コンテンツ提供サーバ 2 を構成するコンピュータに各機能を実現させるためのプログラムを説明するためのものである。このプログラムは、CPU 21 が読み取り可能なプログラムコードの形態で上記記録媒体 28 に格納されている例で説明するが、全ての機能を上記記録媒体 28 に格納する必要は無く、必要に応じて、その一部若しくは全部を WAN、LAN などのネットワークや上記インターネット等のネットワーク網 1 を介して伝送制御部 27 から受信して実現する様にしても良い。

【0042】即ち、まず、コンテンツ管理 DB 26 C に登録されているコンテンツ名を参照して、コンテンツページ作成し、それを要求元のユーザ端末 3 に対して送信する（ステップ S 201）。これにより、そのユーザ端末 3 では、図 4 の (A) に示すようなコンテンツページが表示される。即ち、このコンテンツページには、該コ

ンテンツ提供サーバ 2 が提供するデジタルコンテンツデータの一覧と、購入するデジタルコンテンツデータを指定するための購入番号の入力域と、『購入』釐及び『再取得』釐を含む。

【0043】そして、上記『購入』釐又は『再取得』釐の操作に応じたユーザ端末 3 からの要求を受信すると（ステップ S 202）、それが『購入』釐操作による新規購入要求であるのか、『再取得』釐操作による再取得要求であるのかを判別する（ステップ S 203）。

【0044】ここで、新規購入要求を受信したと判別した場合には、更に、上記コンテンツページにおける購入番号入力域に入力された購入番号つまりコンテンツ番号を受信する（ステップ S 204）。そしてその後、端末チェックプログラムを上記ユーザ端末 3 に送信する（ステップ S 205）。

【0045】この端末チェックプログラムを受信すると、ユーザ端末 3 の CPU は、図 5 の (A) のフローチャートに示すような処理を実行する。このフローチャートに記載した各機能を実現するプログラムは、CPU が読み取り可能なプログラムコードの形態で記憶装置もしくは記録媒体に記憶されているものである。

【0046】即ち、まず、当該ユーザ端末 3 の端末 ID（製造番号）を検索する（ステップ S 311）。そして、その検索した端末 ID を、上記コンテンツ提供サーバ 2 に送信する（ステップ S 312）。

【0047】上記コンテンツ提供サーバ 2 では、この端末 ID を受信して（ステップ S 206）、その受信した端末 ID でユーザ販売 DB 26 B を検索し（ステップ S 207）、そこに該当する端末 ID が登録されているか否かを判別する（ステップ S 208）。

【0048】ここで、該当する端末 ID が登録されていない場合には、ユーザ情報登録ページを当該ユーザ端末 3 に送信する（ステップ S 209）。そして、そのユーザ情報登録ページにおいて入力されたユーザ情報を受信したならば（ステップ S 210）、そのユーザ情報を上記端末 ID と共に上記ユーザ登録 DB 26 A に登録する（ステップ S 211）。

【0049】その後、上記要求のコンテンツ番号に対応する課金処理を行って（ステップ S 212）、該コンテンツ番号に対応するデジタルコンテンツデータを上記ユーザ端末 3 に送信する（ステップ S 213）。そして、ユーザ販売 DB 26 B に販売レコードを登録してから（ステップ S 214）、上記ステップ S 201 に戻る。

【0050】一方、上記ステップ S 208 において、受信した端末 ID が既にユーザ販売 DB 26 B に登録されていると判別された時には、更に、上記ステップ S 204 で受信したコンテンツ番号のデジタルコンテンツデータが販売済みであるか否かを、上記端末 ID でユーザ販売 DB 26 B を検索することにより判別する（ステッ

ブ S 2 1 5)。そして、まだ販売されていない場合には、更に、販売済みのデジタルコンテンツデータの中に、現指定のデジタルコンテンツデータの旧バージョンが有るか否かを、上記ユーザ販売 DB 2 6 B より検索し (ステップ S 2 1 6)、そのような旧バージョンが無い場合には (ステップ S 2 1 7)、上記ステップ S 2 1 2 に進んで、当該指定のデジタルコンテンツデータの販売を行うことになる。

【0051】これに対して、旧バージョンのデジタルコンテンツデータを販売済みであった場合には、バージョン差額割引ページをユーザ端末 3 に送信する (ステップ S 2 1 8)。これにより、ユーザ端末 3 には、図 4 の (B) に示すようなバージョン差額割引ページが表示される。即ち、このバージョン差額割引ページは、ユーザ指定のデジタルコンテンツデータのコンテンツ番号、金額、コンテンツ名、バージョンと、ユーザが購入済みのデジタルコンテンツデータのバージョンと、バージョンアップにより購入した場合の割引後の金額と、『新規購入』釦及び『バージョンアップ購入』釦とを含むものである。即ち、ユーザ側の管理の容易化のためにバージョンアップではなく新規購入を望む場合等もあるため、正規の販売金額による新規購入と割引金額によるバージョンアップ購入とをユーザ側で選択できるようにしている。

【0052】そして、上記コンテンツ提供サーバ 2 は、上記『新規購入』釦又は『バージョンアップ購入』釦の操作に応じたユーザ端末 3 からの購入要求を受信すると (ステップ S 2 1 9)、それが『新規購入』釦操作による新規購入要求であるか否かを判別し (ステップ S 2 2 0)、そうであれば上記ステップ S 2 1 2 に進む。

【0053】また、新規購入要求でない、つまりバージョンアップ購入要求を受信した場合には、割引額による課金処理を行って (ステップ S 2 2 1)、コンテンツ番号に対応するデジタルコンテンツデータを上記ユーザ端末 3 に送信する (ステップ S 2 2 2)。この場合、新規購入のためのデジタルコンテンツデータをそのまま送信しても良いが、データ容量の小さな差分データ等、バージョンアップ用のデジタルコンテンツデータを送信することが好ましい。そして、ユーザ販売 DB 2 6 B の当該端末 ID に対応する販売レコードのコンテンツ番号及び更新日時を更新してから (ステップ S 2 2 3)、上記ステップ S 2 0 1 に戻る。

【0054】一方、上記ステップ S 2 1 5 において、受信したコンテンツ番号のデジタルコンテンツデータが販売済みであると判別された時には、そのコンテンツ番号付きのコンテンツチェックプログラムをユーザ端末 3 に送信する (ステップ S 2 2 4)。

【0055】図 5 の (B) は、このコンテンツ番号付きコンテンツチェックプログラムを受信したユーザ端末 3 の動作を説明するためのフローチャートを示している。

【0056】即ち、上記コンテンツ提供サーバ 2 から受信したコンテンツチェックプログラムを実行して、コンテンツ番号対応のデジタルコンテンツデータの有無を当該ユーザ端末 3 内で判定する (ステップ S 3 1 1)。そして、その判定結果を上記コンテンツ提供サーバ 2 に送信する (ステップ S 3 1 2)。

【0057】上記コンテンツ提供サーバ 2 では、この判定結果を受信して (ステップ S 2 2 5)、当該デジタルコンテンツデータが上記ユーザ端末 3 に存在する場合には (ステップ S 2 2 6)、販売済みメッセージページを上記ユーザ端末 3 に送信して (ステップ S 2 2 7)、上記ステップ S 2 0 1 に戻る。

【0058】これに対して、当該デジタルコンテンツデータが上記ユーザ端末 3 に存在しない場合には、コンテンツ再取得ページをユーザ端末 3 に送信する (ステップ S 2 2 8)。これにより、ユーザ端末 3 には、図 4 の (C) に示すようなコンテンツ再取得ページが表示される。即ち、このコンテンツ再取得ページは、当該指定のデジタルコンテンツデータが販売済みであるが、当該ユーザ端末 3 に無いので、無料で再取得可能である旨を示すメッセージと、『再取得』釦とを含む。

【0059】そして、上記コンテンツ提供サーバ 2 は、上記『再取得』釦操作に応じたユーザ端末 3 からの再取得要求を受信したか否かを判別し (ステップ S 2 2 9)、再取得要求が送信されてこない時には、上記ステップ S 2 0 1 に戻る。これに対し、再取得要求を受信した場合には、コンテンツ番号対応のデジタルコンテンツデータをユーザ端末 3 に送信した後 (ステップ S 2 3 0)、上記ステップ S 2 0 1 に戻る。

【0060】一方、上記ステップ S 2 0 3 において、ユーザ端末 3 での『再取得』釦操作による再取得要求を受信したと判別した時には、端末チェックプログラムをユーザ端末 3 に送信する (ステップ S 2 3 1)。この端末チェックプログラムにより、前述したようにしてユーザ端末 3 で端末 ID を検索して、ユーザ端末 3 からその検索した端末 ID を受信したならば (ステップ S 2 3 2)、その端末 ID でユーザ販売 DB 2 6 B を検索して (ステップ S 2 3 3)、該当の端末 ID の有無を判定する (ステップ S 2 3 4)。

【0061】ここで、該当端末 ID が上記ユーザ販売 DB 2 6 B に登録されていれば、その端末 ID のレコードを上記ユーザ販売 DB 2 6 B から抽出して (ステップ S 2 3 5)、コンテンツ番号によるコンテンツ一覧ページを作成し (ステップ S 2 3 6)、コンテンツチェックプログラム付きのコンテンツ一覧ページをユーザ端末 3 に送信する (ステップ S 2 3 7)。

【0062】図 5 の (C) は、このコンテンツチェックプログラム付きのコンテンツ一覧ページを受信したユーザ端末 3 の動作を説明するためのフローチャートである。

10

20

30

40

50

【0063】即ち、まず、その受信したコンテンツチェックプログラムを実行して、コンテンツ番号対応のデジタルコンテンツデータの有無を当該ユーザ端末3内でチェックする。(ステップS321)。そして、各デジタルコンテンツデータ毎の判定結果を上記コンテンツ提供サーバ2に送信する(ステップS322)。

【0064】上記コンテンツ提供サーバ2では、このデジタルコンテンツデータ毎の判定結果を受信する(ステップS238)。

【0065】次に、上記ユーザ端末3では、図4の(D)に示すように、受信したコンテンツ一覧ページのうち、存在するデジタルコンテンツデータと存在しないデジタルコンテンツデータとを識別表示する(ステップS323)。そして、ユーザによりコンテンツ番号の選択を受けて(ステップS324)、その選択されたコンテンツ番号を上記コンテンツ提供サーバ2に送信する(ステップS325)。

【0066】上記コンテンツ提供サーバ2では、この選択されたコンテンツ番号を受信する(ステップS239)。そして、その受信したコンテンツ番号が上記ユーザ端末3に存在しないデジタルコンテンツデータのものであるか否かを、上記受信した判定結果に基づいて判別する(ステップS240)。ここで、上記ユーザ端末3に存在するデジタルコンテンツデータのコンテンツ番号であれば、後述するステップS242に進む。これに対して、受信したコンテンツ番号が上記ユーザ端末3に存在しないデジタルコンテンツデータのものであれば、そのコンテンツ番号対応のデジタルコンテンツデータを上記ユーザ端末3に再送信する(ステップS241)。そしてその後、まだ他の受信コンテンツ番号があれば(ステップS242)、上記ステップS240に戻り、無い場合には、上記ステップS201に戻る。

【0067】一方、上記ステップS234において、該当端末IDが上記ユーザ販売DB26Bに登録されていないと判別された場合には、コンテンツ無しページをユーザ端末3に送信する(ステップS243)。これにより、ユーザ端末3には、図4の(E)に示すようなコンテンツ無しページが表示される。即ち、このコンテンツ無しページは、当該ユーザ端末3に指定のデジタルコンテンツが無く、端末変更による再取得の場合には端末変更ボタンを押すことを求めるメッセージと共に『端末変更』釦を表示するものである。

【0068】そして、上記コンテンツ提供サーバ2では、この『端末変更』釦操作に応じた端末変更要求をユーザ端末3から受信したか否かを判別し(ステップS244)、それを受信しない場合には、上記ステップS201に戻る。

【0069】これに対して、端末変更要求を受信した場合には、ユーザ情報入力のためのユーザ確認ページをユーザ端末3に送信する(ステップS245)。そして、

このユーザ確認ページにおいて入力されたユーザ情報を当該ユーザ端末3から受信する(ステップS246)。その後、その受信したユーザ情報を上記ユーザ登録DB26A内で検索し(ステップS247)、登録の有無を判定する(ステップS248)。

【0070】ここで、登録されていない場合には、再取得不可ページをユーザ端末3に送信した後(ステップS249)、上記ステップS201に戻る。

【0071】これに対して、上記ユーザ登録DB26Aに登録されていた場合には、そのユーザ登録レコードから端末IDを取得して(ステップS250)、その端末IDのレコードを上記ユーザ販売DB26Bから抽出する(ステップS251)。そして、その抽出レコードに含まれるコンテンツ番号によるコンテンツ一覧ページをユーザ端末3に送信する(ステップS252)。これにより、ユーザ端末3では、図6に示すような未登録端末へのコンテンツ一覧ページが表示される。即ち、この未登録端末へのコンテンツ一覧ページは、現在のユーザ端末3(3B')の端末ID及び旧ユーザ端末3(3B)の端末ID、ユーザ名、旧端末での販売済みデジタルコンテンツデータのリスト、及び再取得希望のデジタルコンテンツを選択するよう促すメッセージ、並びに、『全て選択』釦及び『個別選択』釦を含む。また、端末変更に料金を取る場合には、その端末変更に必要な料金についての情報を含めることができる。

【0072】而して、ユーザ端末3より再取得希望のコンテンツ番号を受信すると(ステップS253)、そのコンテンツ番号対応のデジタルコンテンツデータをユーザ端末3に送信し(ステップS254)、上記ユーザ販売DB26B内の当該デジタルコンテンツデータ対応の端末IDを変更する(ステップS255)。なお、上記端末変更に料金を取る場合には、そのための課金処理を行う。そして、上記ステップS201に戻る。

【0073】以上のように、ユーザが指定したデジタルコンテンツデータをそのユーザのユーザ端末3に対して提供した場合は、そのユーザ端末3の端末IDを自動取得してその取得した端末IDと上記指定デジタルコンテンツデータとを対応付けて管理し、デジタルコンテンツデータの再取得の要求があった場合にもその端末IDを自動取得し、そのユーザ端末3に対して過去に提供したデジタルコンテンツデータについては、そのデジタルコンテンツデータを直ちに再提供できるようにしたので、過去にデジタルコンテンツデータを取得したユーザ端末3においてそのデジタルコンテンツデータの再取得が必要になった場合には、そのユーザ端末3を使つての再取得の要求のみによりそのデジタルコンテンツデータの再取得を直に行うことができる。

【0074】また、ユーザが指定したデジタルコンテンツデータをユーザ端末3に対して提供する際、その提供先となるユーザ端末3に対するその指定デジタルコ

ンテンツデータの提供が再提供となるのか新規提供となるのかを、そのユーザ端末 3 から自動取得した端末 ID に基づいて自動判別するようにしたので、ユーザにあっては今使用しているユーザ端末 3 においてその指定デジタルコンテンツデータの提供を過去に受けたのかどうか、忘れてしまっていたとしても、そのデジタルコンテンツデータを提供するサイドでそのユーザ端末 3 に対する提供が再提供なのか新規提供なのかを自動判断してくれるので、損の無い情報の提供を受けることができる。

【0075】更に、そのユーザ端末 3 でそのデジタルコンテンツデータの提供を受けていたことは分かっているが、何等かの理由（ディスククラッシュ等でデバイスが故障した場合や OS の交換、等）でそのデジタルコンテンツデータを損失してしまう場合があるが、その場合であってもそのユーザ端末 3 で再度のデジタルコンテンツデータの提供を要求しさえすれば、新規提供とは異なる料金でのデジタルコンテンツデータの提供を受けることができる。

【0076】以上、実施の形態に基づいて本発明を説明したが、本発明は上述した実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨の範囲内で種々の変形や応用が可能なことは勿論である。

【0077】例えば、上記実施の形態では、端末変更要求を受けた時に、登録ユーザであれば無条件にデジタルコンテンツデータを送信するようにしているが、過去の端末変更履歴を記憶しておき、一度変更した端末を再度元の端末に戻すよう要求がなされた時にはデジタルコンテンツデータを送信しないようにしても良い。こうすることにより、1 ユーザが複数端末にインストール可能なコンテンツではない所謂 1 ユーザ 1 端末契約のコンテンツを、複数端末にインストールすることを防止できる。

【0078】また、上記ユーザ端末は、コンピュータとして説明したが、これに限らず、PDA 等の携帯型情報処理装置、あるいは、ネットワーク網接続機能を持った携帯電話やデジタルカメラ、デジタル音声プレーヤ等、各種のデジタル情報処理機器を利用することができる。

【0079】同様に、コンテンツ提供サーバ 2 も、コンピュータ以外の情報処理装置を利用することも可能である。

【0080】

【発明の効果】本発明によれば、有料デジタルコンテンツデータを購入した後に、ユーザが当該デジタルコンテンツデータを再度購入することなく、且つ、簡単な操作で、当該デジタルコンテンツデータを再取得でき

るようになる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】（A）は本発明の一実施の形態に係る情報提供システムの構成を示す図、（B）はコンテンツ提供サーバとして機能するコンピュータの構成を示す図、（C）はユーザ登録 DB の 1 レコードの内容を示す図、（D）はユーザ販売 DB の 1 レコードの内容を示す図であり、（E）はコンテンツ管理 DB の 1 レコードの内容を示す図である。

10 【図 2】コンテンツ提供サーバとしてのコンピュータでのユーザ端末からのコンテンツページ要求データを受信した際の動作を説明するための一連のフローチャートの前半部分を示す図である。

【図 3】コンテンツ提供サーバとしてのコンピュータでのユーザ端末からのコンテンツページ要求データを受信した際の動作を説明するための一連のフローチャートの後半部分を示す図である。

20 【図 4】（A）はコンテンツページを示す図、（B）はバージョン差額割引ページを示す図、（C）はコンテンツ再取得ページを示す図、（D）はコンテンツ一覧ページを示す図であり、（E）はコンテンツ無しページを示す図である。

30 【図 5】（A）はユーザ端末における端末チェックプログラム受信時の動作を説明するためのフローチャートを示す図、（B）はユーザ端末におけるコンテンツ番号付きコンテンツチェックプログラム受信時の動作を説明するためのフローチャートを示す図であり、（C）はユーザ端末におけるコンテンツチェックプログラム付きのコンテンツ一覧ページ受信時の動作を説明するためのフローチャートを示す図である。

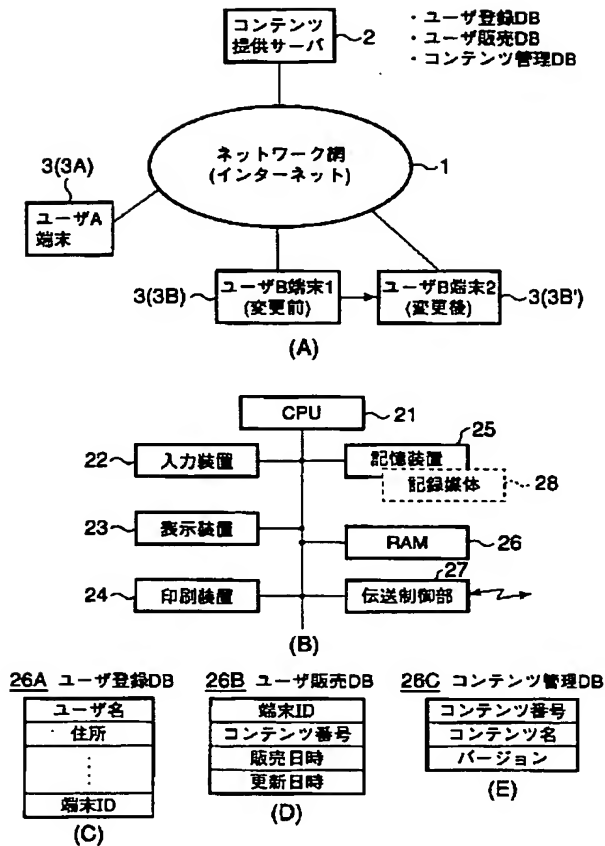
【図 6】未登録端末へのコンテンツ一覧ページを示す図である。

【符号の説明】

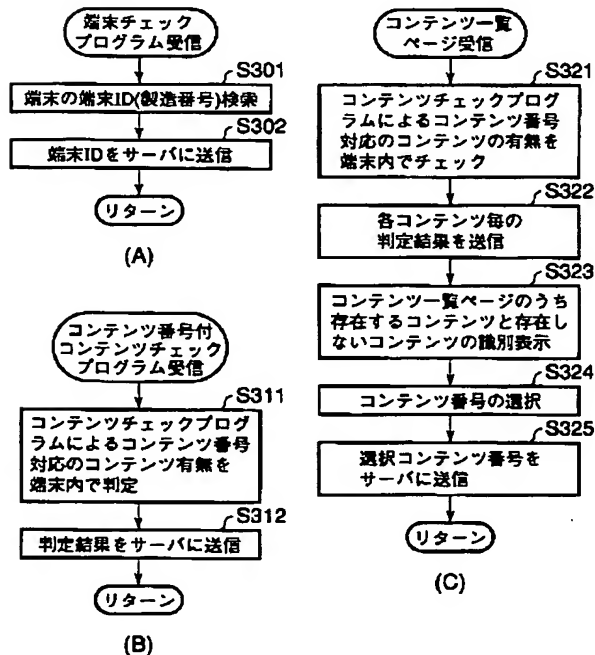
1	ネットワーク網
2	コンテンツ提供サーバ
3, 3 A, 3 B, 3 B'	ユーザ端末
2 1	CPU
2 2	入力装置
2 3	表示装置
2 4	印刷装置
2 5	記憶装置
2 6	RAM
2 6 A	ユーザ登録 DB
2 6 B	ユーザ販売 DB
2 6 C	コンテンツ管理 DB
2 7	伝送制御部
2 8	記録媒体

40

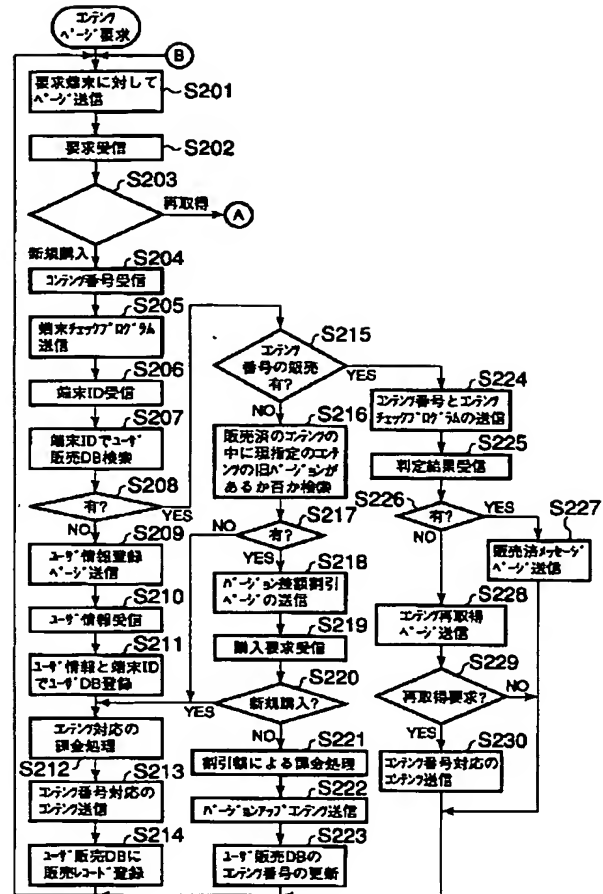
【図1】



【図5】



【図2】

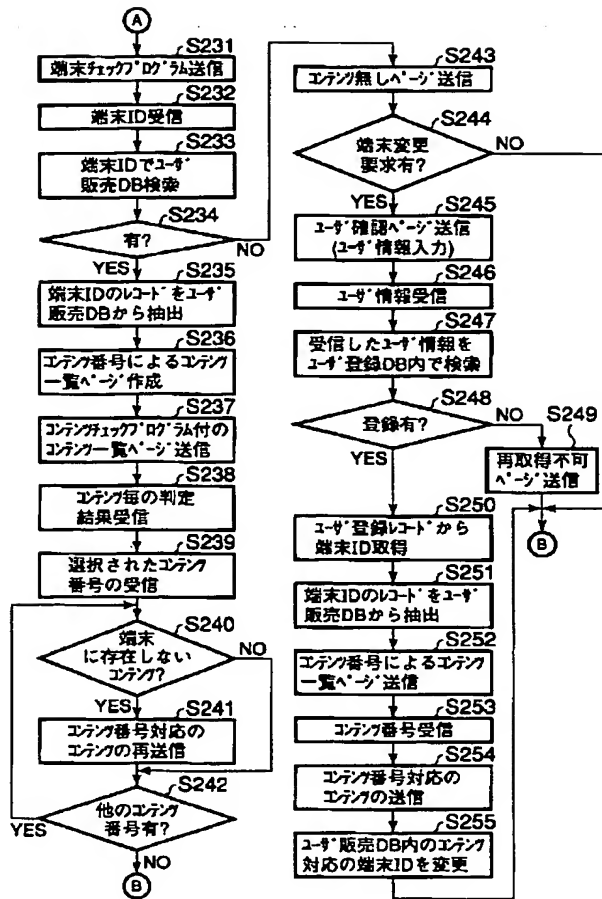


【図6】

未登録端末へのコンテンツ閲覧ページ

現端末ID XXXX	端末変更料金は各コンテンツ料金の1/3。
旧端末ID XXXX	
ユーザ名 XXXX	
旧端末での販売済コンテンツ	
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
現端末に再取得の番号を選択して下さい (選択後は、旧端末では選択できません)	
<input type="button" value="全て選択"/> <input type="button" value="個別選択"/>	

【図3】



【図4】

